



## 結合実習に向けて

7月の体育の授業。さまざまな蝉の鳴き声に包まれながら、生徒たちは元気にプールで泳いでいます。

夏本番です。そして、結合実習(就職試験の実習)はこれから本番を迎えます。3年生の皆さんは、いつ実習が入ってもよいように、心や体の準備をしておいてください。過去の3年生の中には、夏休みに気の抜けた生活を送っていたところ、突然結合実習が入り、実力を発揮できないまま、面接・実習が終わってしまった人がいました。この先輩のような失敗をしないためにも、夏休みは規則正しい生活を送り、定期的に体を動かすことが大切なのです。特に、夜寝る時間と、朝起きる時間を決めてください。当たり前のことですが、生活のリズムを整えることが結合実習合格の第一歩です。



ただし地域の違いや、事業所の都合で結合実習の時期が早い場合もあれば、遅い場合もあります。これは例年のことですから、あせらず万全の準備をしておいてください。

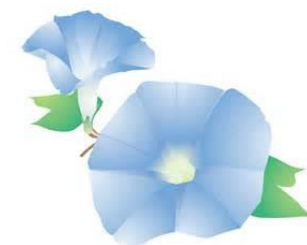
そして結合実習に入れば、保護者の皆様には実習日誌へのコメント記入、面接・反省会への出席をお願いします。事業所の中には、保護者の協力の度合いを合否決定の材料とするところがあり、合格を勝ち取るためにも万全の態勢で実習に臨みたいと考えています。

## 家庭での手伝いの習慣を！

家庭の中で「風呂の掃除」や「食器洗い」、「洗濯物をたたむ」などの役割を持つことが、自立の力を養うことにつながります。実際、長く働き続けている人と、仕事をすぐやめてしまう人にアンケート調査をしたところ、家庭で手伝いをしている人が長く働きつづけているという結果が出ています。

夏休みは家庭にいる時間が長く、手伝いを習慣づけるチャンスです。是非とも、家庭の中での役割を持つことで働く力をつけてもらいたいと思っています。

## 就労のための6カ条



①働こうとする意欲があること。②健康であること(心身ともに)。③生活面が安定していること。④社会性が備わっていること(あいさつ・返事報告等のコミュニケーション面、素直・真面目等の人間性)。⑤作業性があること。⑥保護者の理解と協力が得られること。

以上が、就労するために必要な要素です。このうち、多くの卒業生が苦戦しているのが、④の「社会性」です。特に「指示されたことを素直に聞き、仕事をする」ことができない卒業生は、周囲との折り合いが悪くなり、職場に居づらくなっています。中には、退職してしまった人もたくさんいます。

作業性などの課題は努力すれば成長できるのですが、社会性の課題の難しさは、働き始めてからでは克服することがなかなかできないところにあります。そして、社会に出てこの問題に直面する人は在学中から問題があった場合が多いのです。

在校生の皆さんの中に、この「指示されたことを素直に聞く」ことができない人はいませんか。先生方からこの課題を指摘された人は、今なら間に合います。ぜひ本気で取り組んで、卒業までに克服して大きく成長してください。